

〈Program〉

- * G.F.ヘンデル：ラルゴ(Ombra mai fù) ～オペラ〈セルセ〉より
G.F.Handel : Largo(Ombra mai fù) from the opera, Xerxes
- * C.W.グルック：メロディ ～オペラ〈オルフェオとエウリディーチェ〉より
C.W.Gluck : Melody from the opera Orfeo ed Euridice
- * H.ヴュータン：夢想 作品22の3
H.Vieuxtemps : Rêverie Op.22 No.3
- * E.エルガー：気まぐれ屋さん 作品17
E.Elgar : La Capricieuse Op.17
- * A.P.ボロディン(大山元・編曲)：夜想曲 ～弦楽四重奏第二番三楽章より
A.P.Borodin/dai3gen : Notturmo
～ from String Quartet No.2 3rd movement
- * P.de サラサーテ：スペイン舞曲 作品26の2
P.de Sarasate : Spanish Dance Op.26 No.2
- * P.ヴィアルド：子守唄 ～6つの小品より
Pauline Viardot : Berceuse from Six Morceaux
- * エイミー・ビーチ：ロマンス
A.Beach : Romance ほか



大津 純子(OHTSU Junko)

Violin

東京芸術大学、米国ジュリアード音楽院卒業。ジュリアード音楽院在学中にジュネス・ミュージカル・インターナショナル、及び、カーネギー・ホール両者による招待にてニューヨーク・デビュー。ニューヨーク・タイムズ紙上、音楽評論家レイモンド・エリックソン氏より、“卓越した演奏”“将来を大きく期待される音楽家”と高い評価を受け、以後、ニューヨークを拠点に、本格的な米国内外での演奏活動を開始。

セントルイス交響楽団、シモン・ポリバル・ヴェネズエラ国立オーケストラ他との共演、リサイタル・プログラム〈The Artistry of Junko Ohtsu〉は、パブリックTVネットワークにて全米30都市以上に放映、また米国各地でのラジオ放送出演も数多い。ロックフェラー三世財団より2年間に亘り特別グラント受賞。国際交流基金派遣にてロシア、チェコ、フィリピン、ベトナム、オーストラリアなど、欧州、アジア、中南米諸国にて公演し、絶賛される。

『ヴァイオリンの詩～ベル・エポック』、スペイン音楽選集『マラゲーニャ』(各・日本フォンテック)、『Prelude to a Kiss』(BAJ Records)などCD5枚をリリース。『マラゲーニャ』収録曲のE.グラナドス：ヴァイオリン・ソナタは、“素晴らしい録音・・・”(音楽評論家・諸石幸生氏)と評価高い本邦初録音となる。また、アメリカ女流演奏家と構成する Ecco Trio (ピアノ・トリオ) によるアルバム『アメリカ』は、〈レコード芸術〉誌「室内楽準推薦盤」に選出された。2011年2月、東北民謡集DVD『あいの風～Wind from Northeast』をプロデュース、リリース(この収益全額は東日本大震災復興のために寄付)。その意想外な企画と、ヴァイオリンによる津軽・南部地方の民謡(編曲)演奏の新鮮なアプローチは称賛的となる。

2002年、自ら企画・プロデュースした室内楽シリーズ『Good Old Days ～アメリカの〈素敵な時代〉』は、日本のクラシック音楽シーンの盲点であった“知られざるアメリカ”にスポットを当てた意欲的な好企画として各界より注目を浴びる。2004～11年、イラストレーター・和田誠、ジャズピアニスト・佐藤允彦両氏とともにジャンルを超えて音楽を楽しもう、という意図のもと、《Junko and the Night and the Music》シリーズを開催。3人の異なるバックグラウンドを生かしたユニークな企画は好評を博す。2005年12月より《大津純子・心のコンサート》を年2回展開中。

2012年、新シリーズ《純子の音楽ミニ・キャラバン》(小さなお子さん・学生さん対象に“音楽の楽しみ”を届ける出張演奏会)を開始。また、2000年より毎秋、国立情報学研究所主催による《軽井沢土曜懇話会》(情報工学における権威、故・猪瀬博氏開設)に招かれてレクチャー・コンサートを行っている。現在、コンサート・プロデュース、執筆、講演の分野にも活動の場を広げている。

市毛 良枝(ICHIGE Yoshie)

Guest

静岡県生まれ。文学座付属研究所・俳優小劇場の養成所を経て、1971年、テレビドラマ「冬の華」でデビュー。以後、映画、テレビ、舞台と幅広く活躍。

40歳から始めた登山が趣味であり、最近では登山の経験をいかした執筆活動や講演会も行う。登山をきっかけに環境問題にも関心を持ち、99年には環境省の環境カウンセラーに登録された。その他、非営利活動法人日本トレッキング協会の理事を務める。著書に『山なんて嫌いだった』(山と溪谷社)などがある。

岡田 知子(OKADA Tomoko)

Piano

東京芸術大学器楽科を卒業後、北西ドイツ音楽アカデミー・テトモルトに留学。声楽の伴奏と器楽アンサンブルを学び、同校を首席で卒業。1977年1月、ベルリン・メンデルスゾーン・コンクール：ピアノ・トリオ部門第1位入賞。同年10月、ジュネーブ国際音楽コンクール：ピアノ・トリオ部門第2位(1位空席)およびスイス特別賞受賞。現在、アンサンブル・ピアニストとして内外演奏家との共演、CD録音、コンサート・プロデュースなど、多方面に活発な活動を続けている。

次回は・・・

心のコンサート10周年!!

第20回記念公演

2015年9月27日(日)

代官山ヒルサイドプラザにて

〈会場〉



■コンサートお申込み書 (FAX送信先: 03-3486-8740)

お名前

ご連絡先

ご住所

名